

建築研究資料

Building Research Data

No. 124

March 2010

平成21年度 長期優良住宅先導的モデル事業 の応募提案の評価

Evaluation of Proposals for “The Lead Model Project for Long-term
Quality Housing” in The Fiscal Year 2009

西尾信次、澤地孝男、有川智、岩田司、
鹿毛忠継、河合直人、中島史郎、萩原一郎、古賀純子、
布田健、濱崎仁、武藤正樹、平野陽子、工藤瑠美

Shinji Nishio, Takao Sawachi, Satoshi Arikawa, Tsukasa Iwata,
Tadatsugu Kage, Naohito Kawai, Shiro Nskajima, Ichiro Hagiwara, Junko Koga,
Ken Nunota, Hitoshi Hamasaki, Masaki Muto, Yoko Hirano, Rumi Kudou

独立行政法人 建築研究所

Published by

Building Research Institute

Incorporated Administrative Agency, Japan

はしがき

独立行政法人建築研究所は、より良い住宅・建築・都市を実現するため、公的研究機関として公平・中立な立場を活かした研究開発を実施し、その成果を社会・国民に還元することにより、真に豊かさの実感できる国民生活の実現と経済・社会の発展に貢献することを基本的役割としています。この役割を果たすために、平成 20 年 4 月から国土交通省により募集が行われている「長期優良住宅先導的モデル事業（平成 20 年度は「超長期住宅先導的モデル事業」として実施）」の応募提案の評価を担っています。

同モデル事業は、住宅の寿命を延ばす「長期優良住宅」の普及推進を図る国土交通省の施策の一環として実施され、計 2 回行われた平成 21 年度の募集においても 500 余の提案がなされ、平成 20 年度に引き続き非常に大きな反響がありました。建築研究所では所をあげて評価に取り組むと共に、外部の学識経験者による評価委員会を設置し、慎重に審査・評価を行いました。

本資料は、平成 21 年度の応募提案、評価の経過及び結果、採択された提案等を総括し、とりまとめたものです。また、併せて、平成 20 年度からこれまで計 4 回の公募に寄せられた提案内容から、既存住宅等の改修部門に関する主要な提案内容及び住宅産業の新しい動きについてもとりまとめています。

同モデル事業は、平成 22 年度以降も実施が予定されており、今後の提案のための検討資料として、また、住宅・建築産業に関わる多くの方々が長期にわたる住宅の使用に向けて取り組まれる今後の検討資料として役立てていただくため、広く公開することと致しましたので、ご活用賜れば幸いです。

最後に、長期優良住宅先導的モデル事業の評価にあたっては、巽和夫委員長（京都大学名誉教授）をはじめとする評価委員会の委員各位に多大な協力を賜りました。ここに改めて御礼申し上げます。

平成 22 年 3 月

独立行政法人建築研究所
理事長 村上 周三